

# ジョージア政治・経済 主な出来事

【2016年9月12日～2016年9月18日】

〔当地報道をもとに作成〕

平成28年9月23日

在ジョージア大使館

## 1. アブハジア・南オセチア

### ▼被占領地域での露国家院選挙の実施に関するジョージア外務省声明(18日)

・ジョージア外務省は、ロシアがアブハジア・南オセチアで露国家院選挙を実施したことを非難する声明を発表。声明によれば、ロシアはアブハジア・南オセチアに21の選挙区を設置し、住民11万4000人以上をロシア連邦内の様々な地方・州の有権者として登録させた。

## 2. 外 政

### ▼外相のstrasブール訪問(13日)

・「ジャ」外相はstrasブールを訪問し、ジョージアに対する査証自由化をめぐる欧州議会での議論に出席。「ジャ」外相はハーン近隣諸国・拡大交渉担当欧州委員、アヴラムプロス内政・移民問題担当欧州委員らと会談。

・「ジャ」外相との会談で「ハ」欧州委員は、「ジョージアに対する査証自由化に関し、欧州議会にも、EU理事会にも意見の相違はない」と述べた。

### ▼国会議長が欧州評議会国会議長会議に出席(15日-16日)

・ウスパシヴィリ国会議長がstrasブールで行なわれた欧州評議会およびパートナー諸国の国会議長会議に出席。「ウ」国会議長は「民主制、人権、法の支配における国会の役割」と題した演説を行なった。

・「ウ」国会議長はトルビョルン欧州評議会事務局長、アグラメント欧州評議会議員会議議長、ネストル・エストニア国会議長らと会談。

### ▼欧州評議会議員会議代表団のジョージア訪問(13日-14日)

・7名の欧州評議会議員会議(PACE)代表団が選挙期間の状況の視察のためジョージアを訪問。ウスパシヴィリ国会議長、クヴィリカシヴィリ首相、ジヴァニア中央選挙委員会委員長、ムゲブリシヴィリ内相、各党・メディア、市民グループ代表者らと会談。

・代表団は15日に声明を発表。声明は、「多元的な政治・メディア状況および機能的な法的枠組みの存在を確認した」と述べている。また、これまでの選挙よりも選挙期間中の雰囲気は落ち着いているものの、立候補者・有権者に対する暴力・嫌がらせなどが報告されたとして、予防・対処を求めている。

・PACEは投票日の状況を監視するため、32名の代表団の派遣を予定している。

## 3. 内 政

### ▼中央選挙委員会による登録抹消(12日)

・12日、ジヴァニア中央選挙委員会委員長は、比例代表名簿の提出の期限を守らなかったとして、「産業がジョージアを救う」党と「我らの祖国」党の連合の国会選挙登録を抹消したと発表。

・同連合が決定の取り消しを求めてトビリシ市裁判所に訴えを起こした結果、13日、トビリシ市裁判所は中央選挙委員会に同連合の登録を命じる判決を下した。14日、「ジ」中央選挙委員会は控訴しない意向を明らかにした。

### ▼首相の発言(14日)

・13日、ムゲブリシヴィリ内相が、「一部の政党が選挙期間中および選挙後にある種の挑発行為を計画している」と述べたことについて、翌14日、クヴィリカシヴィリ首相は、「統一国民運動(UNM)が状況の先鋭化を企図しているという情報がある」と発言。

・ラティアニUNM事務局長は、首相の発言を批判し、「状況の不安定化を願う唯一の政治勢力はジョージアの夢自身である」とコメント。

### ▼国家安全保障会議(15日)

・マルグヴェラシヴィリ大統領が国家安全保障会議を召集。会議では、2017年のジョージア軍の構成および国防省改革について議論され、ジョージア軍の構成人数は37,000人と決定された。

### ▼カヘティ地方知事の任命(16日)

・クヴィリカシヴィリ首相は、国会選挙への出馬のための辞任したシオランヴィリ前カヘティ地方知事に代わり、カダギシヴィリ新知事を任命した。「カ」新知事は7月に自由民主主義者党を離党している。

### ▼「国民のための国家」党首とルスタヴィ2代表との会話の録音の公開(16日)

・ブルチュラゼ「国民のための国家」党首とグヴァミア・ルスタヴィ2代表との電話での会話を録音した音声は何者かがインターネット上に公開。会話のなかで、「グ」ルスタヴィ2代表は、「国民のための国家」党員の一部が、新国会でジョージアの夢と連立を組む用意があると述べていることを批判している。

・「グ」ルスタヴィ2代表およびブルチュラゼ「国民のための国家」党首は、不法な盗聴を行なっているとして政府を批判。

・国家保安庁は盗聴および盗聴音声の公開への関与を否定。内務省はプライバシーの侵害の容疑で捜査を開始した。

### ▼政党への献金(16日)

・国家監査局の情報によれば、2016年1月～8月の政党への献金額は、ジョージアの夢・民主ジョージア党（GDDG）10.28百万ラリ、国民のための国家2.29百万ラリ、愛国者連合1.15百万ラリ、統一国民運動651千ラリ、ギルチ601千ラリ、新ジョージア党261千ラリ、自由民主主義者党343千ラリ、民主運動・統一ジョージア党108千ラリ。

・GDDGは少なくとも15の企業から献金を受けた。法人は各政党に対し年間120千ラリまで、個人は60千ラリまで献金を行なうことができる。

#### 4. 経済

##### ▼TBC銀行が仏ソシエテ・ジェネラルの資産を購入(12日)

・仏ソシエテ・ジェネラルは所有するBank Republicの株式（全株式の93.64%）を315百万ラリでジョージア国内第2位のTBC銀行に売却することで合意したと発表。TBC銀行は代金の70%を現金で、30%を新たに発行するTBC銀行の株式で支払う。「ソ」社はTBC銀行の株式の5.4%を所有することになる。

・TBC銀行によれば、取引により、同銀行は融資額・預金額でBank of Georgiaを抜いて国内最大の銀行になる。TBC銀行は欧州復興開発銀行が所有するBank Republicの残りの株式についても購入について予備的な協議を行なっていると発表した。

・Bank Republicについては、7月に、Basis Bankを所有する中国華凌集団が、獲得に向けた予備的な合意を結んだと発表していた。

・また、TBC銀行は、Progress Bankから108百万ラリの資産と108万ラリの債権を購入したと発表した。

##### ▼ジョージア国際海事フォーラム(12日～16日)

・バトゥミにて国際海事フォーラムが開催され、クヴィリカシヴィリ首相、クムシシヴィリ経済・持続的発展相らが出席。

・「ク」経済・持続的発展相はミツ・マルタ運輸通信相と「ジョージア政府とマルタ共和国政府の間の海上貿易に関する合意」に署名。また、オメニアン・ウクライナ・

インフラ相と両国の国際鉄道・船舶の運行をめぐる協力に関する合意に署名した。

##### ▼中国との自由貿易協定をめぐる協議の完了(13日)

・クムシシヴィリ経済・持続的発展相が会見を開き、中国との自由貿易をめぐる協議が完了したと発表。「ク」経済・持続的発展相は、「これはジョージアにとって歴史的な合意である。7か月という記録的に短い期間で協議を完了した。ジョージアは地域において中国と自由貿易を行なう初めての国となる」と述べた。「ク」経済・持続的発展相によれば、12月頃に自由貿易協定への署名が行なわれ、両国国会での批准を経て、2017年半ばに協定が発効する見通し。発効すれば、ワイン、ミネラルウォーター、農産物を含むジョージア産品の95.5%が関税なしで中国市場に輸出されるようになる。

##### ▼2016年8月の工業製品生産者物価指数(15日)

・国家統計局が発表。前月比0.04%上昇、前年同月比3.4%減少。

##### ▼2016年8月の外国送金(15日)

・国立銀行の資料によれば、2016年8月の外国からジョージアへの送金額は105.8百万ドル。前年同月比21.4%増。送金元の国別では、金額の大きい順に、ロシア34.9%、米国11.1%、イタリア10.0%、ギリシャ9.8%、トルコ7.6%、イスラエル5.2%、スペイン2.8%、アゼルバイジャン2.4%。EU諸国からの送金が30.8%を占める。

・2016年5月のジョージアから外国への送金額は17.3百万ドル。前年同月比38.4%増。

##### ▼EIB副総裁のジョージア訪問(15日)

・バラニアイ欧州投資銀行(EIB)副総裁がジョージアを訪問。クヴィリカシヴィリ首相、クムシシヴィリ経済・持続的発展相らと会談。「バ」EIB副総裁は、ジョージアは地域において政治的および経済的に最も安定した国であるとして、数年間でジョージアに対する投資額を倍増することを計画していると述べた。